

## 実践薬学研究室

Pharmacy Practice and Sciences

### 臨床薬学教育推進センター グローバル・リレーション部門

Division of the International and Local Relations  
Advanced Education Center of Clinical Pharmacy

教授 田口 雅登 Masato Taguchi

#### ◆ 研究概要

当研究室では、日常の医療現場で生じる多様な薬物治療上の問題に対し、主として薬物動態学的アプローチから原因解明や解決を図る臨床薬学研究に取り組んでいます。より具体的には、1) 臨床試験、2) Modeling & Simulation等に基づく体内動態や薬効の予測、3)薬物治療を支える科学的エビデンス創出を目的とする基礎研究、などを行っています。また、地域で働く薬剤師の日常業務や研究活動を支援するため、薬剤師実践力を強化養成する卒後教育プログラムの開発や学び直しを目的としたリカレントプログラムなど、薬学教育学研究にも取り組んでいます。

#### ◆ 原著

- 1) Ayane Mito\*\*, Keiichi Hirono, Haruka Ide, Sayaka Ozawa, Fukiko Ichida, Masato Taguchi. Effects of Concomitant Administration of PXR Ligand Drugs on the Anticoagulant Effects of Warfarin. *Biol Pharm Bull.* 2022 Apr 2; 45(6): 703-708. doi: 10.1248/bpb.b21-00853.
- 2) Daisuke Watahiki\*\*, Daisuke Saito, Naonori Nishida, Hiroyuki Tsuru, Keiko Nomura, Yuichi Adachi, Masato Taguchi. Voriconazole injection may induce delayed methotrexate excretion: a case report and experimental study. *J Pharm Health Care Sci.* 2022 May 26; 8(1): 9. doi: 10.1186/s40780-022-00240-3.

#### ◆ 学会報告

- 1) 井出春佳\*\*, 水戸綾音, 廣野恵一, 小澤綾佳, 市田露子, 田口雅登. ワルファリンの抗凝固作用に及ぼす PXRリガンド薬物併用の影響. 日本医療薬学会 第5回フレッシュャーズ・カンファランス; 2022 Jun 12; 東京.
- 2) 田口雅登. 創造的問題解決を志向した薬剤師実務に基づく症例研究の展開. 医療薬学フォーラム2022 第30回クリニカルファーマシーシンポジウム; 2022 Jul 23; 金沢 (オンライン). (招待講演)

#### ◆ その他

- 1) 田口雅登. 富山大学薬学部リカレントプログラム2022 第1回TDMの基本概念; 2022 Mar 29; オンライン.
- 2) 田口雅登. 富山大学薬学部リカレントプログラム2022 第2回体内分布と臓器クリアランス; 2022 Apr 19; オンライン.
- 3) 田口雅登. 富山大学薬学部リカレントプログラム2022 第3回腎障害時の投与設計; 2022 May 17; オンライン.
- 4) 田口雅登. 富山大学薬学部リカレントプログラム2022 第4回1-コンパートメントモデルの応用; 2022 Jun 14; オンライン.
- 5) 田口雅登. 富山大学薬学部リカレントプログラム2022 第5回電卓による薬物体内動態の解釈; 2022 Jul 12; オンライン.
- 6) 田口雅登. 富山大学薬学部リカレントプログラム2022 第6回注意を要する薬物のPK特性; 2022 Aug 9; オンライン.
- 7) 田口雅登. 富山大学薬学部リカレントプログラム2022 実践コースプログラム; 2022 Aug 27; 富山.